

2023年度 SYLLABUS 【博士後期課程】

授業科目名	金融経済学特別研究
担当教員名	國方 明
科目のテーマ	<p>テーマ：マクロ経済学またはミクロ経済学を金融に応用する。</p> <p>経済学の標準的な分類(<i>Journal of Economic Literature</i> の Classification Codes, https://www.aeaweb.org/econlit/jelCodes.php)によると、金融にかかわる経済学は、大きく分けて次の E と G の 2 種類ある。</p> <p>E. Macroeconomics and Monetary Economics このうち金融にかかわる小分類は、次の E3～E5 と考える。</p> <p>E3. Prices, Business Fluctuations, and Cycles</p> <p>E4. Money and Interest Rates</p> <p>E5. Monetary Policy, Central Banking, and the Supply of Money and Credit</p> <p>G. Financial Economics これは次の G1～G5 に細かく分かれる。</p> <p>G1. General Financial Markets</p> <p>G2. Financial Institutions and Services</p> <p>G3. Corporate Finance and Governance</p> <p>G4. Behavioral Finance</p> <p>G5. Household Finance</p> <p>本科目では上記分類のうち、次の①と②の<u>どちらか</u>を学ぶ。①と②のうちどちらを学ぶかは、受講者の関心事によって決まる。</p> <p>①E3～E5。①は主にマクロ経済学の応用といえる。</p> <p>②G2、また G2 を理解するために必要な範囲内で G3。②は主にミクロ経済学の応用といえる。</p>
科目内容・方法等	<p>科目内容：</p> <p>まず、受講者の関心事を確認する。</p> <p>次に、関心事に沿った教科書を読む。①を学ぶ場合、中級以上のマクロ経済学教科書または、金融や金融政策を題材にした教科書などを読む。一方②を学ぶ場合、金融や金融機関を題材にした教科書などを読む。</p> <p>さらに、①と②どちらの場合でも、教科書で紹介されている学術論文などを読みたいと考えている。</p> <p>方法：</p> <p>原則として、対面の演習形式で授業を進める。具体的には次の(a)と(b)を繰り返す。</p> <p>(a)教科書や学術論文などに基づいて履修者が報告する。(b)その報告に対して、質疑応答、國方による補足説明をする。</p>